学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校２年	国語	古典探究	2	GS コース
教科書・副教材		精選古典探究古文編・精選古典探究漢文編・精選言語文化（東京書籍） 『ダブルマスター　古典文法＋漢文句形』（第一学習社） 『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店）、『ルート古典２』（啓隆社）		

科目の目標			
古典分野は１年次に既習した助動詞・漢文句形の復習を行う。週１回の古文単語テストや、漢文句形テストを実施するとともに、応用力を身に着ける。また作品の面白さにも触れ、豊かな感性や教養を身に着ける。文学的分野は場面の読み取りだけでなく、深い読みを行い、他者との意見交換などを通して考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。 育みたいコンピテンシーは「創造性」「論理的思考」「疑う力」「表現力」「課題設定」とし、それらを軸とした授業を実施するとともに、様々な発表の場を設けたい。アウトプットを通じて自らを客観視し、自己評価へとつなげることを目標とする。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	授業・家庭学習の成果、 リフレクション、定期考査、小テスト	授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション、定期考査	授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	・ガイダンス	1	
	・助動詞の学習：文法事項を理解し、文章の読解につなげる。	2	単元テスト 授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション 週に１度単語テスト
	・『十訓抄』「成方といふ笛吹き」：説話を味わいながら、正確に読み取る。	3	
	・『十八史略』「完璧而帰」：漢文味わいながら、読み方を確認する。	3	
	・『伊勢物語』「小野の雪」：歌物語の特色や作品に表れているものの見方などを読み取る。	3	
	・敬語：敬語の種類や敬意の対象ついて理解を深め、識別できるようになる。	2	授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション、期末考査 週に１度単語テスト
	・『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」：随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。	3	
	・『羅生門』：極限状態にある登場人物の心情の変化を，場面の展開に即して読み取り，主題について考える。	6	
2学期	・『史記』「四面楚歌」：項羽の生き方を通して、人間のあり方について関心を深める。	3	授業・家庭学習、単語テスト リフレクション、単元テスト
	・『平家物語』「壇ノ浦の合戦」：内容の解釈、表現の特色について理解を深める。	7	
	・「雨漏りの音」：登場人物の心情の変化や人間関係の在り方について考える。	5	
	・漢文句法の復習：漢文句法などの文法事項を理解する。	2	授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション、期末考査 単語テスト
	・『小説』「夜行逢鬼」：内容を正確に読み取りながら，発想や表現の特色を理解する。	4	
	・敬語の復習	2	
	・『源氏物語』「若紫」：他の作品や絵との関係も踏まえ，内容を的確に読み取る。	8	
3学期	・『陶淵明集』「五柳先生伝」：文章の構成や展開を理解し，様々なものの見方に触れる。	2	授業・家庭学習の成果、予習 リフレクション、定期考査 単語テスト
	・『大鏡』「花山天皇の出家」：作品の特色に注意し，歴史物語の内容を的確に捉える。	8	
	・『富嶽百景』：主人公の心情の変化と，富士山や周囲の人々についての描写に注意して，小説を読み味わう。（途中で終わる可能性あり）	6	